



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その85

福井県にある「タケフナイブレッジ新館」、ICU・長田直之の設計で2020年竣工です。旧館の1993年毛綱毅廣作品の円筒形に対し、新館は真っ白な正三角柱2本を重ねた構成です。内部には、武生の刃物産業と協働したデザイナー川崎和男作品の展示や、工房、ショップなどがあり旧館の薄暗さに対して、外光が入る、明るい吹抜け空間になっています。

CURRENTLY WORKS



調剤薬局の新築移転 その3…街角のオブジェ

建物の交差点角のセットバックした部分に、業態サイン機能を持たせた立体オブジェをデザインしました。小さなオブジェですが、幼い子どもたちにも読める「ひらがな」である事や、爽やかなカラーリングとすることで、地域の様々な世代の方々に話題性を提供するとともに、新しいフェイズへ向うこの薬局に、親しみを持ってもらえるよう意図しました。

PRIVATE TOPICS



関山の地元探訪記 その16

稲沢市にある「椿園」です。日本で唯一の椿専門農園で、ナゴヤドーム2面分の敷地があります。園内にはたくさんの椿が植えられ、希少な種もあります。販売も行っていますが、見学するには予約が必要です。また養蜂も本格的に手掛けていて、一般的な蜂蜜に加えて、濃厚な「椿蜂蜜」も販売しています。この商品は稲沢市特産品認定を受けているそうです。

EDITORIAL NOTE

8月のお盆には、「きゅうり」と「ナス」に割りばしを刺して、4足動物のカタチを作ります。これを「精霊馬(しょうりょうま)」と言います。きゅうりは脚が早い馬で、ご先祖様が早く帰ってこられるように…ナスは牛で、お土産を積んでゆっくり帰れるように…そんな想いが込められているそうです。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島